

いつまでもお元気で ～100歳おめでとございます～



松藤 スミエさん(口之津町)
大正10年12月25日生まれ



土橋 トシエさん(有家町)
大正11年1月1日生まれ



木下 トシ子さん(加津佐町)
大正11年1月1日生まれ



大町 フジコさん(南有馬町)
大正11年1月1日生まれ



志岐 キクヨさん(西有家町)
大正11年1月8日生まれ

宮崎 ミハさん(布津町)
大正11年1月5日生まれ

森 ヤヨイさん(口之津町)
大正11年1月5日生まれ



4 決意を新たに消防出初式

1月5日、ありえコレジヨホールで消防出初式を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、分列行進、放水訓練は取りやめ、式典のみ参加人数を制限して執り行いました。式典では、長年にわたり消防団活動に尽力した団員が表彰を受け、被表彰者を代表して、元市消防団長の大山秀孝さんが「消防団に入団以来、先輩団員の厳しくも温かい指導のもとに何とか一人前の消防団員となり、固い絆で結ばれた団員仲間とともに充実した消防団生活を送ることができた。南島原市の防人として、微力ながらも誠心誠意、消防業務に携わってきたことを誇りにし、今後の人生の糧にしたい」と謝辞を述べました。

市消防団長挨拶で永田勝則団長は「火災や水害をはじめ災害はいつ、いかなる形で襲ってくるか分からない。これまで以上に消防技術の錬磨に精励し、崇高な消防精神に支えられた強い信頼と団結を築いてほしい」と話しました。



5 自転車歩行者専用道路の活用について懇談しました

11月19日、現在整備中の自転車歩行者専用道路の完成後の活用策について、市民や関係者の意見を聴くため、観光関連などさまざまな分野の人に参加していただき懇談会を開催しました。

参加者からは、「市民を巻き込んでいくことが大切」など取り組み姿勢に関する意見のほか、「市の花ひまわりを咲かせるフラワーロードにする」、「各地域の撮影ポイントにデッキをつくり、インスタ映えするようなスポットを点在させる」、「島原半島を巡るサイクルイベントを計画している」などの具体的な提案がありました。また、「この道路が旧8町の個性の一つにつながるツールとなってほしい」との声も聞かれました。松本市長は「皆さんからいただいたさまざまなアイデアや意見を生かして、自転車歩行者専用道路の活用に向けてしっかりとやっていきたい」と話しました。※懇談会の概要については、市ホームページに掲載しています。

Focus in 南島原

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

まちの話題



1 新成人489人が二十歳の新たな門出

1月4日、本市成人式をありえコレジヨホールで執り行い、新成人489人(男255人、女234人)のうち、348人の新成人が出席しました。

深江・布津・有家・西有家の4地区の新成人を対象に行われた午前の式典では、松本市長が薄田奈緒さん(深江町)に成人証書を授与。「皆さんの柔軟な発想と情熱で夢を追いかけ、人に感謝の念を持ち、自分が成長した礎は「南島原市」であることを忘れずに新しい未来を切り開き、時代をつくってほしい」とエールを送りました。

二十歳の誓いでは、山下陽太郎さん(有家町)が「これからも感謝の気持ちとふるさと南島原市で生まれ育った誇りを忘れることなく、社会の一員としての自覚と責任を持って、これからの我が国、また、南島原市の発展に貢献できる人材になるため努力し続けたい」と決意を述べました。

北有馬・南有馬・口之津・加津佐の4地区の新成人を対象に行われた午後の式典では、松本市長が川口瑠夏さん(南有馬町)に成人証書を授与し、二十歳の誓いでは、平一葉さん(口之津町)が「自覚と責任を持ち、生涯にわたり、学び続けることを忘れず、自己研鑽に努めたい」と決意を述べました。

式典後、会場周辺では華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人が友人らと久々の再会を喜び、マスク越しに笑顔を浮かべながら談笑したり記念撮影したりして互いの門出を祝福しました。



3 龍石海岸をボランティア清掃

12月25日、西有家町龍石老人会と県立島原翔南高校が龍石海岸の清掃活動を行いました。同老人会の呼びかけにより昨年からは始まった取り組みで、今回で早くも7回目の活動となりました。毎回50袋もの漂着ごみを回収しており、この日も元気な高校生との共同作業に老人会の皆さんも笑顔で汗を流しました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



2 パルスゼロメーターを市内小中学校へ寄贈

12月21日、南島原市スポーツ推進委員会(川上弘昭 会長)が教育委員会を訪れ、市内小中学校(全21校)へ血中酸素濃度や脈拍数の計測ができる「パルスゼロメーター」を寄贈されました。同推進委員会は市内8町各10人の計80人で構成され、地域のスポーツ活動に関する取り組みを行っています。今回、コロナ禍で自粛生活が続いている子どもたちのために何かできることはないかと考え、児童・生徒の健康管理のために活用してほしいと各校に1台ずつ贈られました。